

## 新しいお仲間ですよ～☆

F「今回のトピックは、何と言っても、新しいYA担当の紹介ですね!」  
 M「え～、特集テーマに沿って、怖い話なんじゃないの～?」  
 F「前回のホンダラケで『白羽の矢は誰に?』って言ったのですから、答えなければ!」  
 M「怖い話したくないだけでしょ」  
 F「ナニモキコエマセン。さてさて! 新しいお仲間、Tさんです!」  
 T「……………よろしくお願いします……………」  
 M「よろしくね～。ところで、Tさんは怖いのは平気?」  
 F「(持っていかれてしまう……………)ニックネームを! 決めましょう!」  
 T「ニックネーム?」



F「Mさんはモササウウス、私ならフラミンゴみたいに、呼び名を決めてるんですよ」

M「前にいたSさんは、スフィンクス、とかね」

F「T……………た、……………タスマニアデビル?」

M「なんでや」 T「……………」

F「他に出てこず……………すみません」



M「やっぱり、Tさんの好きなものとか知らない! というわけで、これはTさんの選んだ本かしら。『インシテミル』」

T「そうです」

M「怖い?」

T「怖いというか……………人がいっぱい死ぬミステリです」

F「そんなさらっと……………Tさんてば、恐ろしい子……………」

M「映画化もしてたっけね。映画と言えば、あれも怖い。『連続殺人鬼カエル男』」

F「あ～、あれも怖かったですよ。同じ作家さんの『ワルツを踊ろう』」

M「けっこう読んでるじゃない」

F「怖いって知らずに読んでしまったのです。怖いってわかってページをめくる手を止められず……………もう読み返せません。Tさんは読んだことありますか?」

T「いえ……………でも、メモしました」

M&F「かわいい～!」

M「初々しさ100%の新人、Tさんをよろしくね～☆」



←Instagram  
ココ



<https://www.instagram.com/hondarake55>  
←ブログはこっち <http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

# ほんだらけ

2021. 8.1

## 本当は怖い現世の話

本当に怖いのは、人間。

### 『ブラディ・ローズ』

今邑彩：著  
中公文庫 2012年



F/イマ

まずタイトル! 直訳すると「血のようなバラ」でしょうか。赤いバラなんて珍しくないのに、形容一つで不穏な雰囲気をかもしだしています。次に表紙絵! 無表情な女性が二人。後ろには窓が黒く塗りつぶされた洋館。とりまくバラも赤が点々としています。そして奥の人影。帽子を片手で上げてこちらに挨拶しているかのよう。これだけでももうサスペンスであることがひしひしと伝わります。え、なんで中身の話をしないのかって? 怖くて読み返せないからです!

### ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

# 青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「海と山」。

ここでは、海に関する一冊を紹介します。

## 『海とジイ』

藤岡陽子:著 小学館 2018年

いじめが原因で不登校となった少年と、ガンを患ったジイの物語など、瀬戸内を舞台にしてくり広げられる三編が収録されています。「海」と「じいさん」をテーマに、瀬戸内の海の風景の美しさや人物の心情が細やかに描かれており、情景が目浮かぶようです。

短編集なので読みやすく、少し時間があいた時にでも手に取ってほしい一冊です。



F/フジ

P.N. 海幸好子 (高校2年生)

## こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

### 『人がいじわるをする理由はなに?』

ドゥニ・カンブシュネ:文 伏見操:訳 岩崎書店 2016

イヤミスを読むと、人の毒気にあてられてげんなりしてしまう今日この頃……。人のくらい部分、ざっくり言ってしまうと「いじわる」。この本は、人がどんな気持ちからいじわるという行動をおこしてしまうのか、身近な言葉で考えさせてくれます。誰もが無縁とは言えないこの感情・行動。なくしてしまうのは難しいけれど、「なんでだろ?」と考えることで行動の前にブレーキを踏めるかもしれません。シュールな挿絵が怖い。



150/16

## 新着図書 Pick Up

### 『おめん』

夢枕獏:著 辻川奈美:絵 東雅夫:編 2021年刊 岩崎書店



726.6/ツジ

“あの子なんか嫌い。不幸になればいいのに。”  
そんな風に誰かのことを思ったことはありませんか？  
そういう時に、あなたの目の前におめんが現れる。これをかぶると人を呪うことができる。さあ、どんな不幸を願う？あの子の不幸をどんどん願って、ほらほらいい気味って思うようになって、あれれいつの間にかおめんが取れなくなったよう…。  
…怖い怖い、怪談えほん。

## YA世代のために血を吐く思いで名作を紹介するコーナー

### 『辻村深月編 江戸川乱歩傑作選 蟲より「蟲」』

江戸川乱歩:著 2016年刊 文春文庫

あなたはとうとう僕のものになりましたね。

少し引きこもりがちな榎木愛造は、ひょんなことから再会した幼なじみの木下芙蓉に恋をする。美しい芙蓉に恋焦がれる榎木だが、彼女にこっぴどく振られ、やがてその恋心は暴走を始める。榎木の隠れ家である土蔵に隠された芙蓉の死体。しかし、いかに生前美しくとも、生命の動きが止まった体の行く末は決まっている。芙蓉の美しさをとどめようとする榎木の奮闘は、他人から見れば狂気なのだろうが、そこには確かに一つの愛の姿が見えるのではないだろうか。



F/エド